
旧家
教育




ヤァ…。
あっ
あぁっ
はぁっ
いやだ……
もう……
はぁっ
ぎゅ…っ
あっ
あぁっ
君の
体も…


やっと最近
慣れてきたね
最初この屋敷にやってきたときは
あんなに嫌がっていたのに
あっ
あぁっ
これも……
僕たちの「教育」の成果かな？
――教育……


——そうだ
ぼくはこの一か月間…
ふーっ
ふーっ
「教育」されてきた
この男を中心とする
屋敷の人々に
さ
つづきしよっか
一か月前——…
みーん
みんみんみんみ
きょっ
今日からこちらで
お世話になりますっ


どうぞ…よろしくお願いしますっ
ペコっ
この屋敷に預けられることになった
事故で身寄りを失ったぼくは
遠縁で苗字も違うこの家は
この地では名の知られた旧家(きゅうか)だった
ぼくはそんな親戚がいたことすらそれまで知らなかった……
東京からは大変だったでしょう
あがりなよ
この人が
この家の当主さま――……
ニコッ


まだ若いのにすごいなぁ……
やさしそう…？
ドキドキ
おじゃまします
ふふっ
ここは今日から君の家でもあるんだ
キシ…
ギ…
「ただいま帰りました」でいいんだよ
わかりました…
わっ
ホ…
お…品…
いい人そう……
今日から君はこの家の坊ちゃまだよ
旧い家で申し訳ないけど君が来たのも何かの縁だ
お金の不自由はさせないから
ご飯も服も勉強も最上級のものを揃えてあげる


そのかわり――
？
いっ
いやぁっ…
その日から
ぼくは
何するんですか
何って……
この家の
奴隷（ぼっちゃま）となった
旦那様の
ご命令だから
なぁ
坊ちゃまを
躾けろって…
ズ
！


やあ
使用人達とは
仲良くやってる？
っ……
あのっ
これは…
一体…
言ったでしょう？
今日から
君は
うちの子
だって
ならばそれに
相応しい躾けを
ほどこすのが
あの…
なに
言って…
当主の務め
だからね


君たち
今夜までにその子の
後ろを慣らしておいて
承知致しました
旦那様
じゃ 僕は仕事の
続きあるから
パタ
また夜にね
それが
はじまり
だった
！


これから
この屋敷で
起こる
すべての
ことの
どう？
気持ち
いい？
ぬちゃっ
ぬちゃっ
ぬちゃっ
あっ
あっ♡
んっ♡


この屋敷に来て
一か月間が経った――…
あ
は…い…
ブくっ
はーっ
きもち…っ
ああ♡
いや…っ
いやあ…っ！
いい……
ぴくぴく
ギチ…ッ
ヒクッ
ぬちゅ
ぬちゅ
ゆる
ゆる…
です…
屋敷内での
この男の
権力は
絶対だ
もし…
よかった
そう
はじめの頃
みたいに
嫌がったら
また
お仕置き
しないと
だし
ビク
お仕置き
――……


当主(このひと)は
何かにつけ
使用人たちに
ぼくを「お仕置き」
させた
「箸の持ち方が
なってない」
「御花(おはな)の稽古が
上手くならない」
「算数の成績が
落ちた」
「日舞が
上手く
できない」
「家庭教師
からの課題を
こなせなかった」
「書道の賞を
取れなかった」
「お辞儀の
仕方が
悪かった」
それから
それから――…

「夜伽(よとぎ)が上手くならない」――……




やだ…ッ！
もっ
ふるふる
もうしわけありません…っ
「お仕置き」だけは――！
……
この一か月で…
君がどのくらい成長したか見たいな
？
君はさ
ずるっ
ビクッビクッ
ひっ♡!?
この浅いとこが好きだよね
ずりゅっ♡
ずりゅっ♡
ひっ♡
きゅんっ♡
ずりゅっ♡
あっ♡
ずりゅっ♡
あぁ♡
ビクッ
ビクッ
ビクッ
じゃあさ…


真ん中らへんはどう？
ここも好きだねぇ…？
ならいっぱい擦ってあげる
ビクッ
ビクッ
ビクッ


可愛いね
はぁ〜っ
はぁ〜っ
じゃあ
もっと奥…
みりっ♡
あっ♡
みりっ♡
みりっ♡
あぁっ♡
はぁっ
いちばん
奥は……
はぁっ
どうかな？
ちゅっ
ビクッ
全部……
挿入(はい)っちゃった
ねぇ？
みちっ
きゅんっ
きゅっ
結局……
どこも君は
感じやすいね


安心したよ
ちゃんと成長してて
僕たちの教育は
いや…
やめて
無駄じゃなかったんだね
君が
僕はね
君にはやく立派になってほしいんだ
僕も君と同じではやくに両親を亡くしてー…
ずっとこの屋敷に一人ぼっちだった


僕を「教育」してくれたお爺様は厳しかったけど
今君にこうしてるみたいに
何もかもを体に叩きこんでくれた
だから僕も同じように
君を精一杯育てようと思うんだ
わかるかな？
もう感じたくないっ…


これは「愛情」なんだよ
ズン
ズンズンズンッ
あぁ♡
ビクッ
熱い…っ
熱い…っ
…また

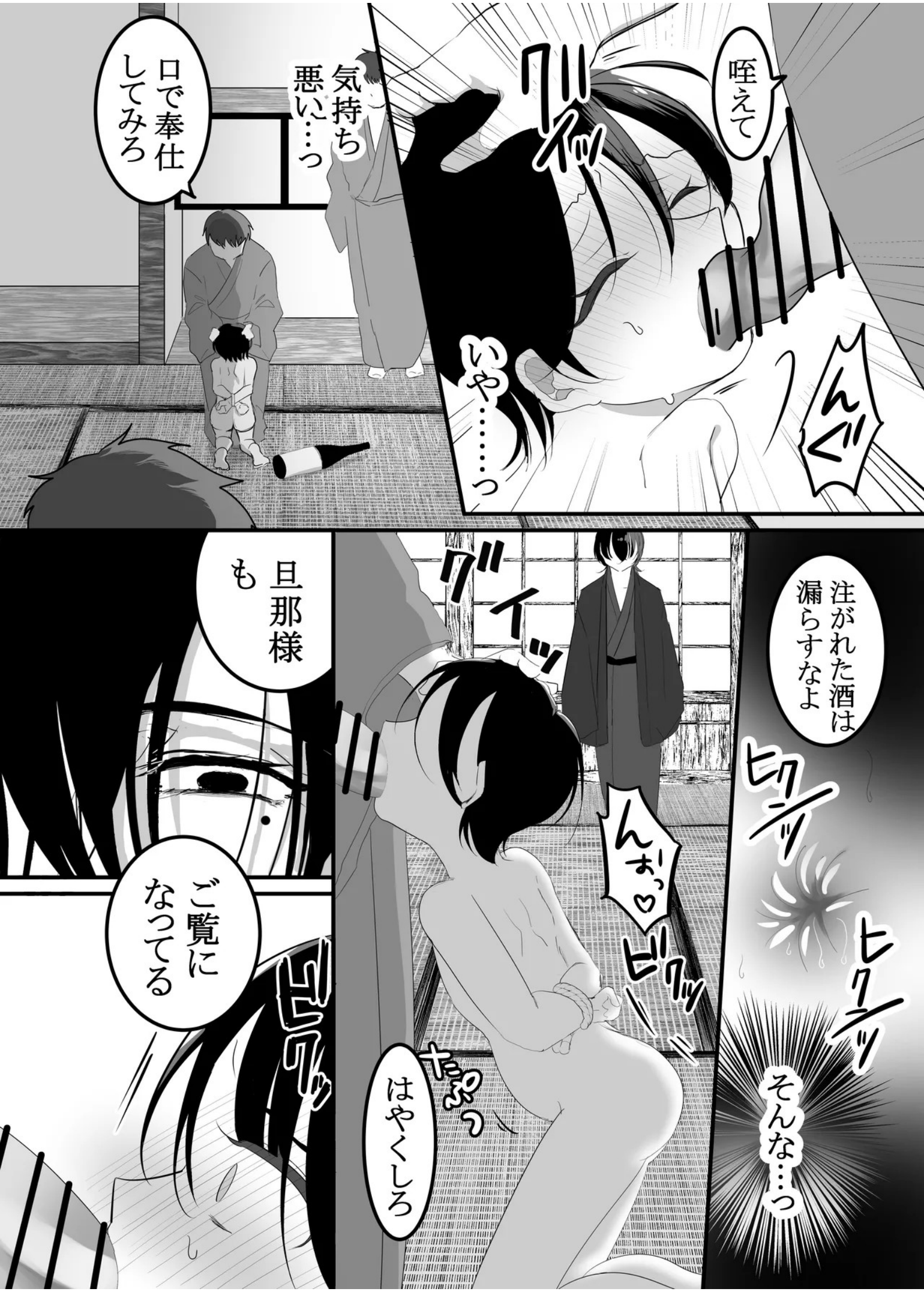

勝手に達ったね
すりすり
ひっ♡
ゴポォ…
やっぱり
お仕置き
はぁ…
はぁ…
は。。
ビクッ
必要だね
ごめんなさい
ごめんなさい
謝ったって
無駄だよ
パンッ
うぁっ♡
パンッ
ひぁっ
パンッ
ぁあ♡
ぐちゅ♡
ぬち♡
君が悪いんだよ
勝手に達ったりしなければ
使用人達を呼ばずに済んだのに


そうだよね？
ヴヴヴヴヴ
パ
あっ
なさっ…
びくんっ
あッ
ブルっ
はい
みんな
あっ
パ
旦那様の仰る通りでございます
ウヴヴヴヴ
はっ
もう……
もうダメ…ッ
はっ
はっ
きちゃう…
トロォ…
イキたいっ…
おねが…っ
パンッ
します
パンッ
あっ♡
パンッ
パンッ
もッ
パンッ
イかせて…


なぁに？
皆に見られながら腰へこへこさせて
本当に反省してる？君
ゆる…して…
はぁ
もぅ…っ
ヴヴヴヴ
ゴリッ
イッ
ビクッ
ビクッ
きたい…です…っ
駄目だよ
真夜中(こんなじかん)に……何のために使用人達を呼んだと思う？
いつもよりきつめに
お仕置きするためだよ？


じゃ
頼んだよ
皆
僕はここで見てる
スッ
承知致しました
旦那様…
おらっ
抜くぞっ
ぐぽっ
ビクッ
びっ♡
おぉ…
こんなに
熟れきって…
いや……
ヒクヒク
ハクッ…
開きっぱなし
じゃねぇか…
見ないで……っ
それは
丁度いい
まずはこれを
使おう
秋の
——お酒？
よっと…
びっ!?
グイッ
ヒクッ
ハクッ…
そのまま穴
開いてろよー
まさか…っ


ぼっ
とぷっ
とぷっ
ビクッ
あっ…っ
いや…っ
あっ…っ
ビクッ
とぷっとぷっとぷっ
きゅんっ
きゅんっ
ガクッ
駄目じゃねえか
酒をこぼしちゃぁ
あっ
あっ
とぽぽぽ…っ
ビクッ
ビクッ
もっと穴を引き締めて漏れないよう頑張れ
そうだそうだ
穴の締まりが悪いと
とぷっとぷっ
もうムラなっ
旦那様との夜伽に差し支える
とぷっとぷっ…
今日もみっちり指導してやっからな
ヤっ
ヒクッ
ヒクッ
あぁ
いやぁっ…
熱いい…っ


咥えて
グイッ
んぐ
いや……っ
気持ち悪い…っ
口で奉仕してみろ
注がれた酒は漏らすなよ
ヒクッ
ヒクッ
そんな…っ
グイッ
んおっ♡
ビクッ
たぷっ
はやくしろ
旦那様も
ご覧になってる
ビクッ


やら…なきゃ……
あの男が見てる……
この家で僕に拒否権はない
ぬぽっ
ぬぽっ
ぬぽっ
んうっ♥
んっ♥
ふん……この一か月でだいぶ上手くなってきたじゃねぇか
ふーー
ふーー
やだ……
レロ…
レロ…
こんなの
やりたくない……
ぬぷっ
んぐっ♥
じゅぷっ
当然だろ
この家の人間たる者……
なんでも完璧にこなせなくてはな
射精したいっ
後ろ漏れそう
それが
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ぬぽ…
ぬぷ…


旦那様のご意志だ
じゅぽっ
んぐっ♡
はやく終わって――！
じゅぽっ
じゅぽっ
んぐっ♡
コレ……おっきくなってきて…
んもっ♡じゃ
ぽっ
苦しいよおっ
おい
何 乳首勃起してんだ？
ビクッ
ツンッ
ツンッ
ホントだ
んぐっ♡
こっちも弄っちゃお～
クリクリ…
やめ…っ
クリクリ
ツンッ
ツンッ
やめて――…!!


そんな…っ
ヒクッ
コネッ
コネッ
クリッ
両方一緒に
されたらっ…
じゅぽっ
じゅぽっ
クリクリ…


じゅぽっ
んんーっ!!♥
きゅうぅっ
きゅうぅ～っ
ガクッ
ビクッ
ガクガク
ブシッ
勝手に雌イキしやがった
俺のこともまだイかせてねえのになっ
しかも見ろよ
漏らすなっつったのに
あ♥
止まらな…っ


これは——
もっと厳しい
仕置きが必要だね
もちろんで
ございます
旦那様
ビクッ
チリン
あっ
ズッ
ズッ
ビクッ
あっ
チリン
いやっ
ズッ
ズッ
ぎちっ
ぎちっ
あぁ♡
おらっ
はやく
当てろよっ
誰のチンポ
なのかっ
わかんなっ——…っ
こんな——
みりっ♡
ごりゅっ
あぅっ
あ♡
あんっ♡
イボイボの
ゴムつきじゃ…っ
ははは
当てねぇと
射精させ
ねぇぞー
当てずっぽうで
いいから誰か
言ってみろよ


……っと…当主様…?!
お願い――!
当たって!!
残念!
俺でしたー
ウソ…っ!?

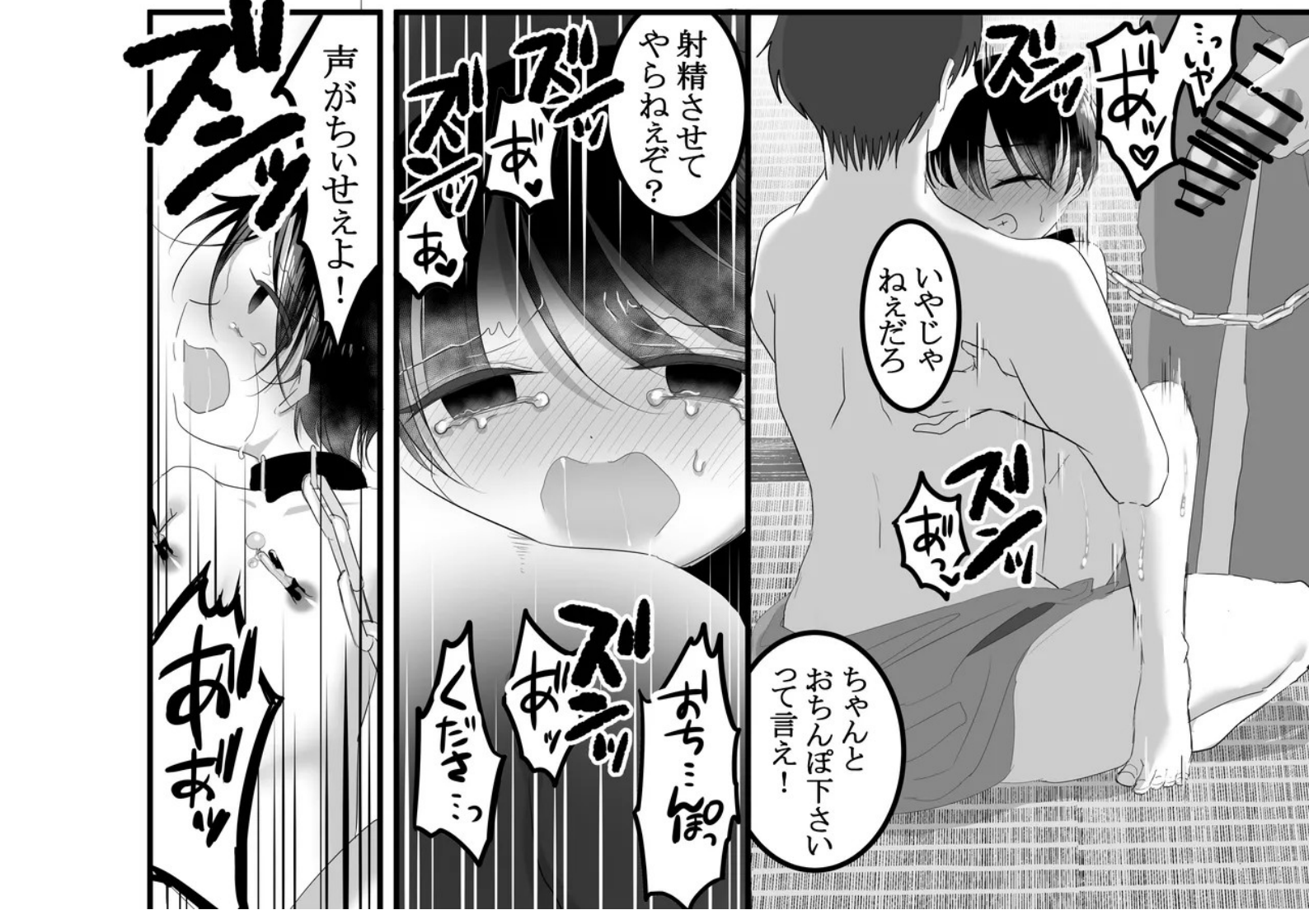

外したからお仕置きな
この首輪なー電気流れんだよ
ホラこーやって鎖引くと。
ビリリ!
バチッ
バチッ
ビリッ
ビリッ
ビリッ
ビリッ
あおおっ


おー
コレやりながらだと
よく締まるな
やめて…っ
もうダメ…っ
へ~
俺にもヤらせて
俺がイってからな
えー
ぐいっ
ビクッ
ビクッ
きゅんっ♥
きゅんっ♥
ひいっ♥
あおっ
チッ
バチッ
バチッ
ジャラッ
ジャラッ
ジャラッ
あおっ
あっ♥
しゅぽっ
しゅぽっ


じゃあ俺口使うわ
ぼっ！
射精…射精したい…
これならいいだろ
しゃぁねぇな
独り占めすんなって
じゅぽ
おらっしっかり咥えろっ
だって可愛いんだもん
痛いっ
んぅ♥
ビチッ
痛いいっ
たしかになー
じゅぼっ♥
勝手に雌イキするなよー
そんなっ！
ガク
おらっ全部飲み込めっ
んぉ♥
イクっ
イクっ
もうイクっ
イったらまた仕置きな
イクぅ…っ
乳首クリップ(ニップル)も
グイッ
似合ってるねぇ
きっ♡


おぉおぉ～ッ!!
ヒクッ
きゅうう
おー
締まる
締まる
はー
また許可なく
雌イキしたな
射精…
ビクッ
はー
はー
ドプッ
ドプッ
ビクッ
射精したい…っ
ぱんっ…っ…
ビクッ
おねが…っしますっ…
も……
ドサッ
ボロ
ボロ
射精(だ)させて…っ
下さ…っ
俺たち15人全員
イかせてからな


それからも
射精管理されたまま
手ぇ休むなよー
あーきもちいー
乳首に錘(おもり)つけるね
射精(だ)させて
だーめ
ぼくは犯されつづけた
代わるがわる
何度も
次、俺ー

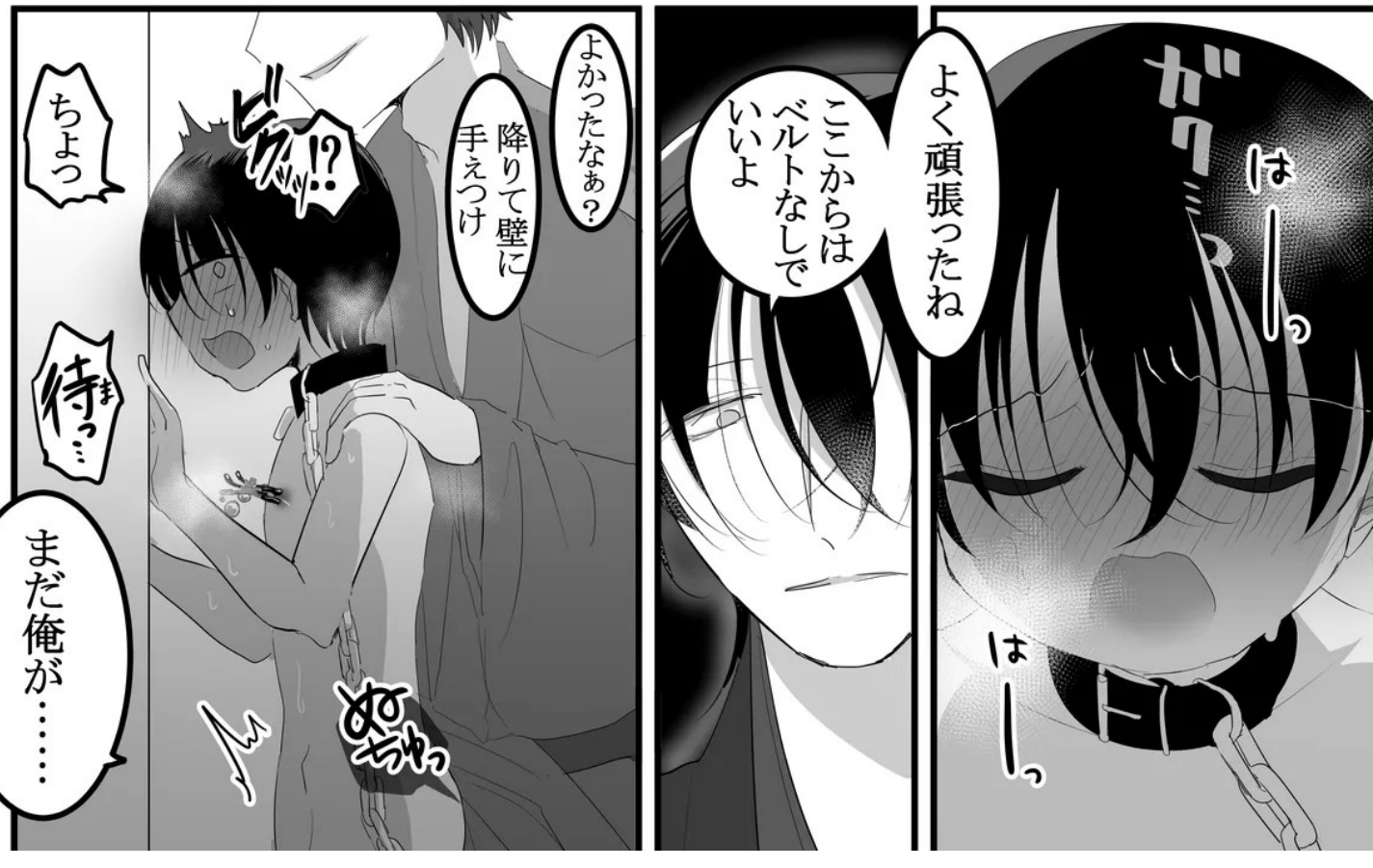

いやじゃねえだろ
ちゃんとおちんぽ下さいって言え！
射精させてやらねぇぞ？
おちんぽ
ください
声がちいせぇよ！


てめえ…
さっきから何回
雌イキしてん
だよ⁉
ぬちゅ…
ぬちゅ…
あっ
ビクッ
ひっ
謝って済む
ことじゃねーだろっ
ブッ
ブッ
ビクッ
ビクッ
おぉーッ♥
勝手に雌イキする
この穴がいけねぇ
あっ♥
んっ♥
ひっ♥
どんだけ淫乱なのか
確かめてやる
ヒク
ヒク…
ぬるっ…
ヴヴヴ…
ヒク…
だめっ♥
あっ♥
あッ♥
も…っ
入(はい)らな…っ
ブル
ブル
入る入る
仕上げに俺の
チンポ入れまーす


ぬ
ビクッ
ちゅッ
ビクッ
ビクンッ
あーまた雌イキしたな？
ぎちッ
ズキン。♡
ズキン。♡
見ろよチンポぱんっぱん
おらッ
謝れっ
ズンッ
「淫乱ケツまんこで申し訳ございません」と
当主様に謝れっ
おッ♡
ズンッ
ズンッ
おッ♡
おッ♡
ズンッ
いんっミらん


けっ…っ
…まんこ…で…っ
ズッ
あッ♡
ズッ
も…しわけ…
あッ♡
ズッ
ごめ…っ
アッ♡
ズチュン
まーたイってんな
あ
あッ♡
ビクッ
ビクッ
どうします？旦那様
良い
ベルトはずして射精させて
承知致しました
カポ
あ♡


ビクッ
おッ〜ッ♥
ビクッ
おッ〜ッ♥
ビクッ
出しすぎだろ


はーっ
はーっ
よく頑張ったね
ここからはベルトなしでいいよ
よかったなぁ？
降りて壁に手えつけ
ビクッ!?
ちょっ
待っ
まだ俺が……
ぬちゅっ


イってねえだろ！
ズ
あ
ズチュッ
あっ
ズチュッ
あっ
ズチュッ
あっ

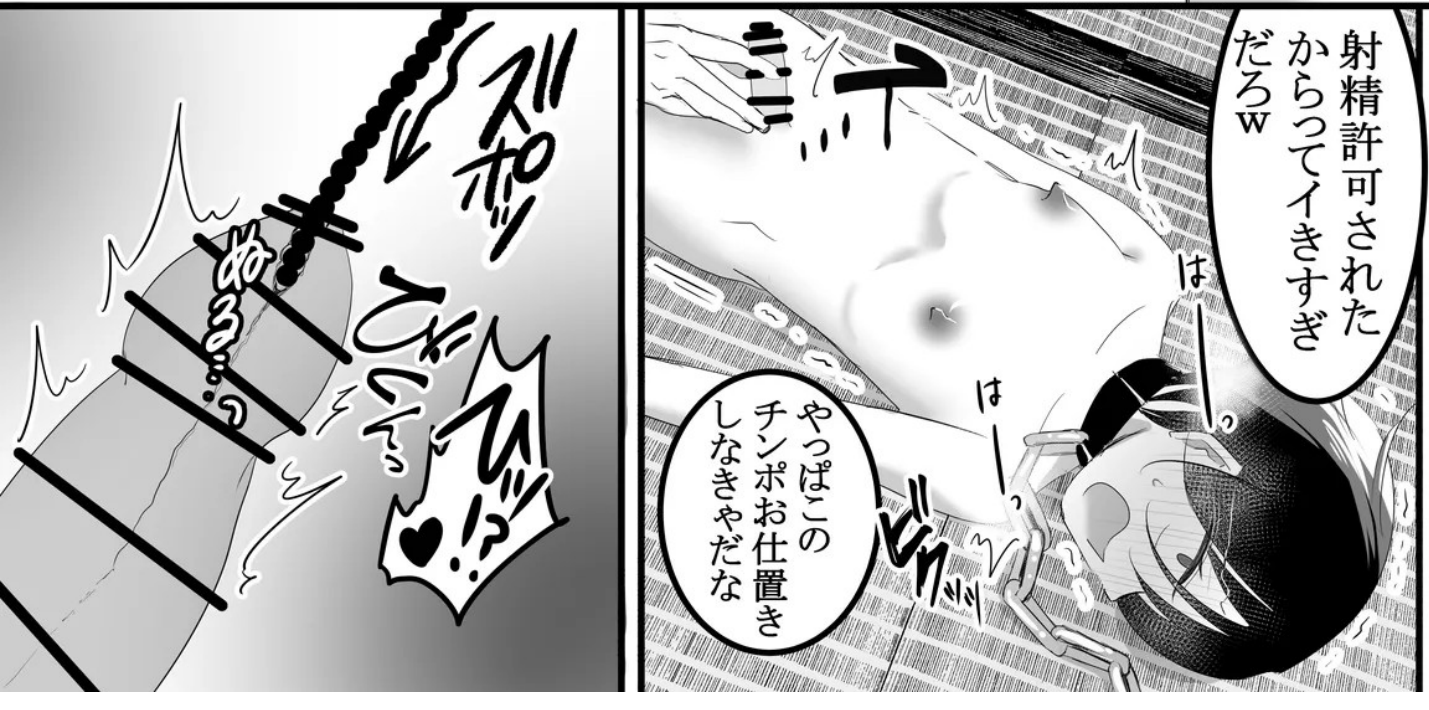

締め付けゆるくなってんぞ！
ごめっなさっ…
潮吹いてんじゃん～
やべ～w


乳首はどうなったかなー？
はぁ
もぉ…やら…
くたぁ


しばらく挟んでたから
赤くなってるねー
この家の坊ちゃまなら
乳首だけでイけるよなぁ？
自分で足開きながら
「おちんぽお恵み下さい」って言えよ
はやっ
もう勃起してやがるw
やだっ…
もう……
欲しくないっ…のに…っ
もう射精したのかよ
チンポまだ挿れてませんけど～w？
お恵み
ください


そんなにチンポ好きなら
二本同時に挿れてやるよ
ズッ
ズッ
ズッ
ひぃっ♡
ズッ
みちっ
ズッ
みっ…
ビクッ
いやぁ
もぉ
れっ…
ないでっ
ボロッ…
あっ
ボロ
みち…
あぁ♡
ズッ
ズッ
せまっw
ぜ～んぶ入っちゃったなぁ～？
だめ…っ
まだ気い失うなよ～
だめぇ…っ
二本……っ


一緒になんて…っ
おらっ
二人分の突きだっ
受け取れっ
おほッ
おおおおおッ♡


射精許可されたからってイきすぎだろw
やっぱこのチンポお仕置きしなきゃだな
ぬるっ…っ


なにっ
ビクゥッ
これぇっ
尿道責めは
初めてだっけ？
クスクス…
大丈夫
大丈夫
これシリコン製
だから
柔らかいし
やっ♥
あっ
ぬるぬるぬる
ダメっ♥
これ
ダメぇっ♥
ビクッ
とちゅっ♥
ぴっ♥
あたま…っ
とちゅっ♥
あたまおかしく
なる……っ
ぶんっ
ぶんっ
やだっ♥
ビクッ
いやだっ♥
ゾクッ
ゾクッ
ンになる…ッ♡
もっと前立腺
ついてあげるね
とちゅっ
ぴっ♥
ぷにっ♥
ぷにっ♥
とちゅっ
とちゅっ
らめっ♥
あたま
ンに
なるッ…♡
とちゅっ
とちゅっ


もー
下品でしょ？
ぐすっ
じゅぽっ
じゅぽっ
じゅぽっ
じゅぽっ
クリッ
あ♡
ヘコッ
やっ♡
ヒクンッ♡
ヒクンッ♡
ひっ♡
お♡
お♡
当主様に向かって
そんな腰ヘコヘコして
お仕置きにあと
100回前立腺つつきね
ゴえっ
なさっ
ソクッ
じゅぽっ
じゅぽっ
じゅぽっ
ごめんなさいっ
ヒクンッ
ヒクンッ
お尻の穴が
ヘン……っ
じゅぽじゅぽ
されるたび
ヒクヒクして…っ
も…
じゅぽっ
ゆるして
くらさっ
じゅぽっ
じゅぽっ
これじゃ
まるで…っ
97
じゅぽっ
ひっ♡
まるで……
98
じゅぽっ
あっ♡
はい がんばったね
99
じゅぽっ
あっ♡
じゅぽっ
100
あ゛♡
ズロロロッ
ひいいっ♡
あ゛あ゛あ゛っ♡
ヒュクウッ
あはは
量やばw
ガクンッ


いやあっ
もぉ
ズチュ
ケツまんこヒクつかせやがって！
イってうっ
ズチュ
もうイきたくないっ…
チンポが欲しかったんだろっ
ズチュ
もうイってますっ
突くたびイってんじゃんw
もう……
イきたくないっ…っ
ズチュ
いやっ
ビクッ
ビクッ
ビクッ


H
ひいいいいっ！
ビュッ
ビュッ
ビュッ


ズッ
ごめんなさいっ
ヴヴヴヴヴ
おっ♡
ズッ
ごりゅ♡
あ♡
ヴヴヴ
ズッ
ごりゅ♡
謝りながら射精すなよw
反省してないw
ズッ
ごりゅっ♡
ごりゅっ♡
ごりゅっ♡
ごりゅっ♡
ズッ
ごりゅっ♡
あ♡
おっ♡
なにも……
おらくわえろっ
ぐぽっ
お♡
ぐぽっ
んぐっ♡
考えられなく
なってく……
当主様……
当主様が
見てる……


ウィン
グィ
ウィン
ウィン
ウィン


ゴシっなさいっ
ゴめっなさいっ
ウム〜
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ウム〜
ヒ〜クッ
あぁあぁあぁあぁ♡♡

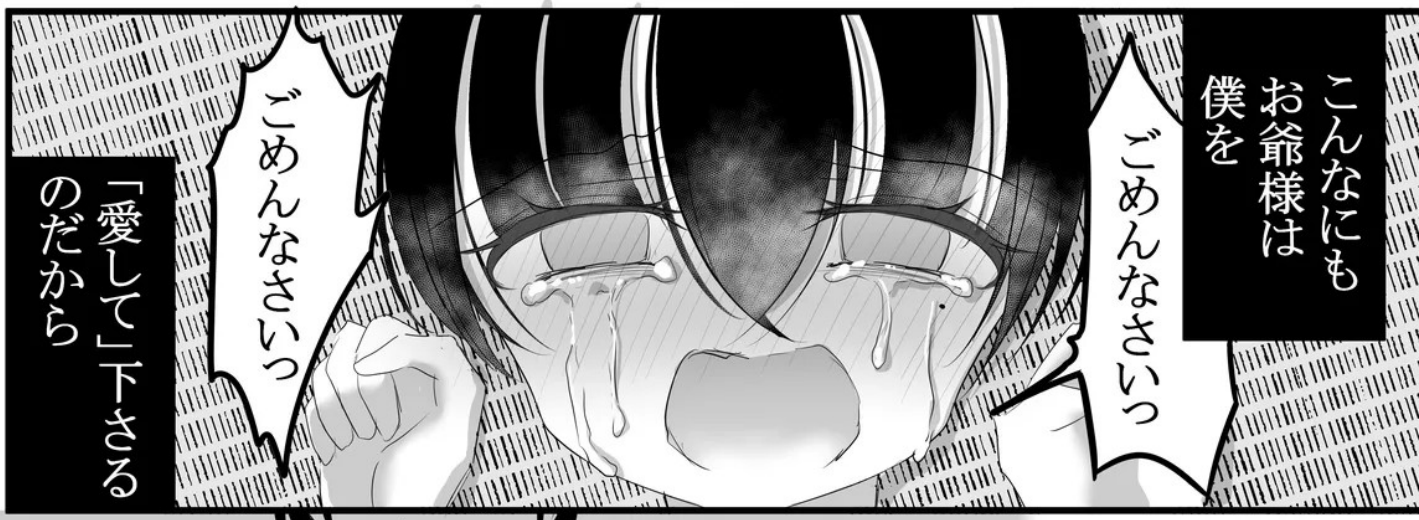

——お？
気絶した？
ピクッ
トロォ〜
ゴポッ
ピクッ
コポォ
ピクッ
意識ないのにイってやがるw
旦那様どうします？

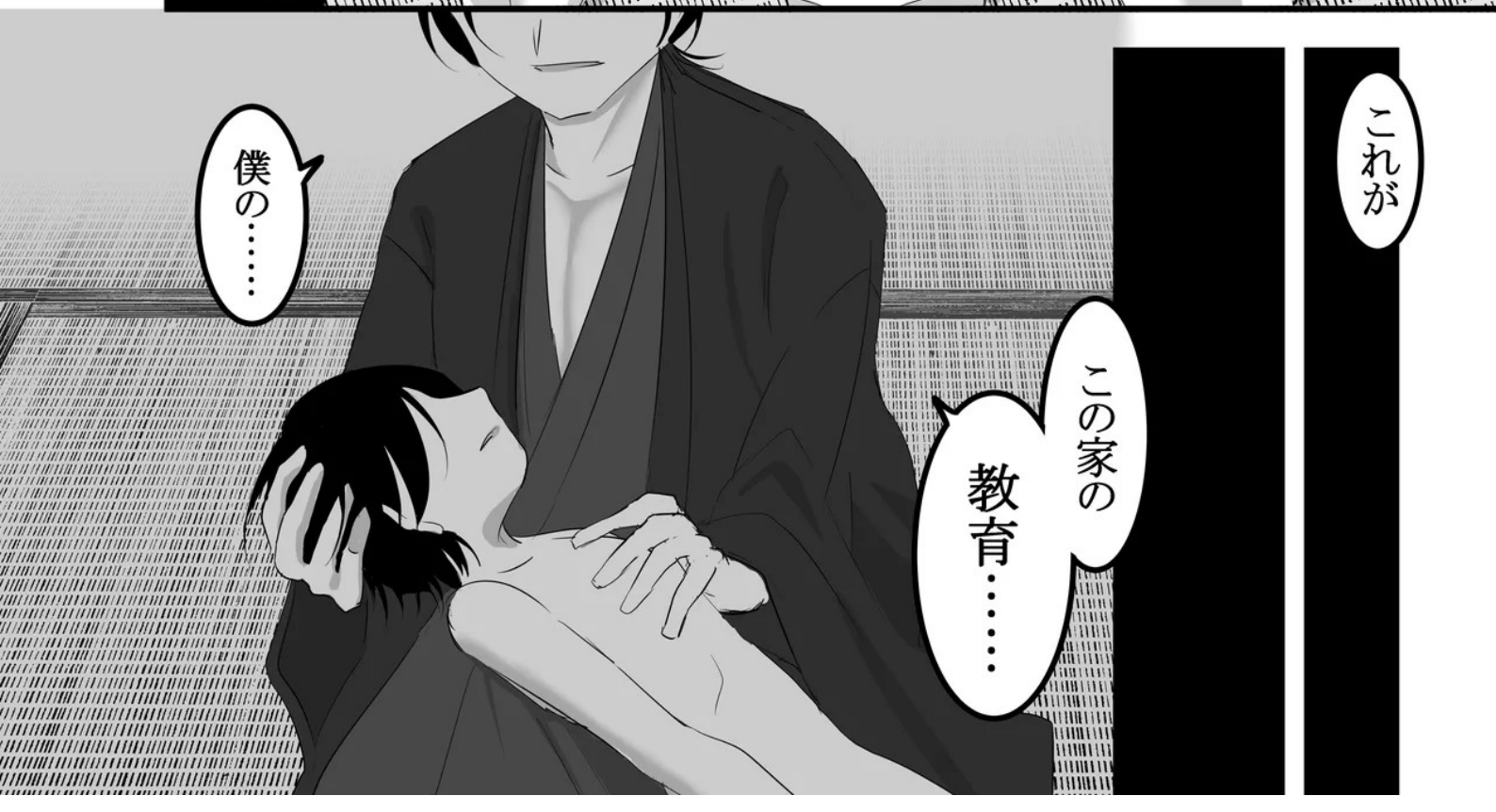

——今日は……
もう下がっていいよ
皆 ご苦労様
承知致しました
また「お仕置き」の際は
なんなりとお申し付け下さい
おやすみなさいませ
ぺこ
ああ…
おやすみ
パタン


サラ…
あ
あッ
じゅぼっ
お爺様ッ
じゅぼっ
やぁっ


「いや」じゃないだろう？
じゅぼっ
じゅぼっ
あっ
じゅぼっ
あっ
じゅぼっ
あっ
お前さんのためにやってるんだよ
これは教育だ
じゅぼっ
あっ
じゅぼっ
あっ
じゅぼっ
あっ
私はお前が可愛いからね
はぁっ
はぁっ
手間を惜しまないのさ
じゅぼっ
これはこの家の躾け――……
いわば
愛情だよ
じゅぼっ
じゅぼっ
はっ…っ
じゅぼっ
おいしいっ
さまっ
これが……
愛情…
そうか


僕は
両親を亡くしたけれど
なんだあの腕の持ち方は！
仕置きだっ
独りぼっちなんかじゃないんだ
だって


こんなにもお爺様は僕を
ごめんなさいっ
ごめんなさいっ
「愛して」下さるのだから


これが
この家の教育……
僕の……


僕の――……
僕は何も
間違って
いない
そうでしょう？
お爺様
……
僕は
ちゃんと
愛されて
育ったんだ
だから正しい愛を
君にも……
これでいい……
これでいいんだ…
これからも
注いでいかないとね